

阿武隈川水系 摺上川ダムの効果 (令和2年4月18日～19日 低気圧)

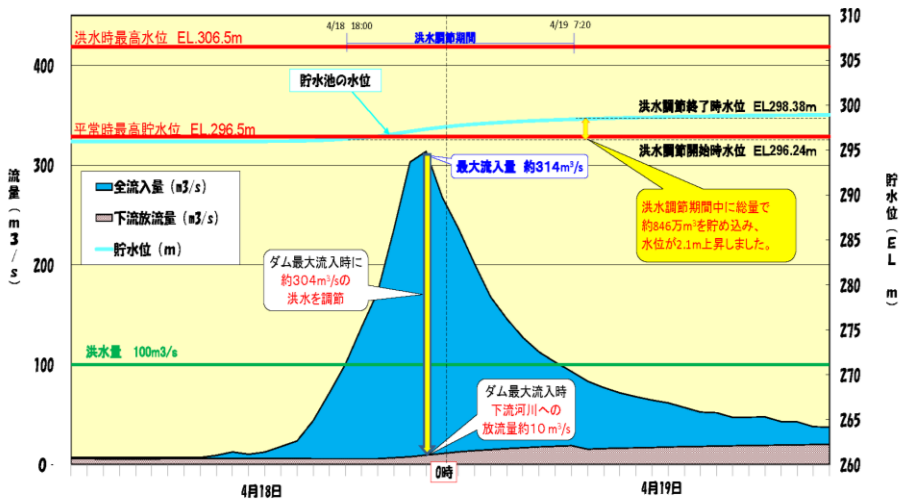
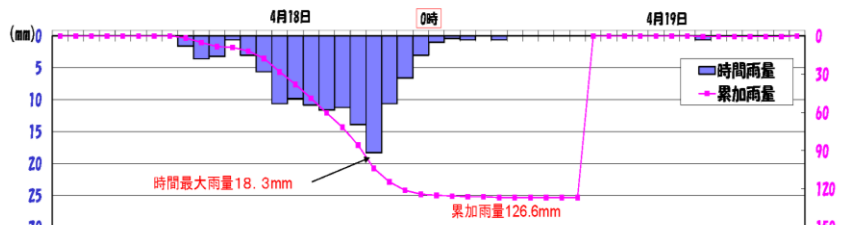
- 低気圧の影響に伴い摺上川ダム流域は、1時間雨量が最大で約18mmとなるなど、4月18日8時頃から19日8時時点までの累加雨量が約127mmに達し、ダムへの最大流入量は約314m³/s（過去第3位）を記録しました。
- 今回の防災操作（洪水調節）では、18日19時50分に常用洪水吐からの越流が開始し、最大流入時には毎秒約304m³（過去第2位）の洪水を調節しました。
- 洪水調節期間（18日18時00分～19日7時20分）の貯留量は約846万m³（東京ドーム6.8個分）にもなりました。
- ダム下流の瀬ノ上地点（福島市瀬ノ上付近）において、約0.42mの水位を下げる効果があったと推測されます。

※数値は速報値であり、今後変わる可能性があります。

瀬ノ上地点でのダムの効果(推定)

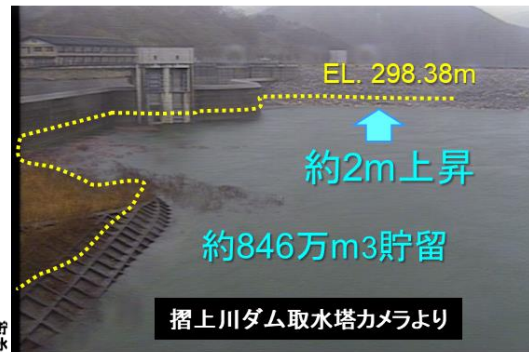


約0.42m水位を下げる効果があったものと推定されます。



洪水調節前のダムの状況

4月18日



貯水位 EL.296.24m